

# 高校第1学年（第4ステージ） 地域創造学 学習指導案

日時 令和元年11月29日（金）

場所 格技場

学級 第1学年34名

授業者 吉田一知 他4名

## 1 単元名 「地域を知らせる」（ガイドブック作成発表会）

## 2 単元について

### （1）題材について

住田町の資源や魅力についての理解を深め、ガイドブックの形で表現することを目指し、どのように調査研究を進めてきたかを生徒個々に振りかえらせ、その調査結果を発表させる。発表内容について生徒同士で対話をさせ、様々な考え方に気づかせる。さらに、発表活動を通じて、発表することの達成感を味わわせたい。

### （2）児童（生徒）について

住田町出身者だけでなく周辺市町村からの通学生が混在している。中学時代から「地域創造学」に取り組んできた生徒もいるが、住田町に関する知識がゼロの状態で、しかも「地域創造学」という言葉を4月にはじめて知った生徒もいる。住田町の歴史や文化、資源や魅力についてどのようなものがあるのか、また自分の関心と関連づけた研究テーマを設定し、調査研究に取り組んできた。

### （3）指導にあたって

生徒個々が設定したテーマに沿って、調査研究を行うにあたり、どのように取り組んできたかの調査経緯とその実践結果を発表表現させてみる。また、聴衆者からの質問意見を聞き、効果的な調査結果を得られた活動であったか、また、計画に無理はなかったかを考えさせる。さらに、相互に発表する活動を行うことで、より高度な学習への意欲につなげたい。

## 3 単元の目標と評価規準

### （1）単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の目標
社会的実践力	A 【地域理解】	○ 住田町または近隣地域の現状と課題を踏まえ、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	B 【社会参画に関する資質能力】	○ 住田町または近隣地域の課題を解決するための行動を考えることができる。
	C 【人間関係形成に関する資質能力】	○ 地域の人々との対話を通じて様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。
	D 【自律的活動に関する資質能力】	○ 地域の課題を自分事として捉え、その解決の方法を主体的に構想することができる。

## (2) 評価規準

☆汎用的スキル      ★態度・意欲・学びの価値

資質能力			評価規準
A ◎地域理解		【◎地】	・住田町や近隣地域の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めている。
B 社会参画に関する 資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択している。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行っている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げようとしている。
C 人間関係形成に 関する資質能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫している。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動している。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えようとしている。
D 自律的活動に 関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分事に引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持っている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとしている。

#### 4 単元の指導・評価計画（本時 第8時／全13時間）

月	プロセス	時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
10 ～ 11	情報収集計画	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブック第一案の発表会を通して確認したことや他者からの意見などを生かし、ガイドブック第二案の構想を練る。</li> <li>必要によっては、ガイドブックに関する内容の再調査などを検討する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>B1☆見通す力 (計画書)</li> <li>D1☆感じ取る力 (計画書)</li> </ul>
	実地・改善およびガイドブック作成	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>見た人に伝わる（レイアウト、文章など）ようなガイドブックの作成を行う。</li> <li>早急に再調査を行い、ガイドブック作成に生かす。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>B2☆多角的・多面的に考える力（成果物）</li> <li>B5★困難を解決しようとする心 (観察)</li> </ul>
11	ガイドブックの再検討	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブックのレイアウトや文章など再検討し、より完成形に近づける。</li> <li>ガイドブック第二案の発表に向けて、発表内容を検討する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>B2☆多角的・多面的に考える力 (成果物)</li> <li>B5★困難を解決しようとする心 (観察)</li> </ul>
	ガイドブック発表	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブック第二案にまとめた内容について発表する。</li> <li>他の人の発表を聞いて、意見や感想を述べる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>C1☆伝え合う力 (ループリック)</li> <li>D1☆感じ取る力 (ループリック)</li> </ul>
12	地域発信	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブックのアンケート用紙を作成する。</li> <li>ガイドブックやアンケート用紙を置いてくれるよう、該当施設などをお願いする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>B3☆提案・発信する力 (成果物)</li> <li>B4★好奇心・探究心 (観察)</li> <li>D2☆創出する力 (成果物)</li> </ul>
1	まとめ・振り返り	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブックのアンケートを回収し、結果をまとめる。</li> <li>他学年生徒の発表を聞き、来年度への取り組みの参考にする。</li> <li>一年間の地域創造学を振り返り、来年度の探究の見通しを持つ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>C3★他者受容 (アンケート)</li> <li>D1☆感じ取る力 (アンケート)</li> <li>D3★自己肯定感 (自己評価シート)</li> </ul>

※「A ◎地域理解」は、本単元を貫くものであるため、記載を省略した。

※高校では、生徒が各テーマを設定して取り組む探究的な学習となるため、小単元の記載を省略した。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

- ① 作成したガイドブックについて、住田町の魅力や作成時に工夫したことなどを他者にわかりやすく説明することができる。 【C1 人間関係形成に関する資質能力 ☆伝え合う心】
- ② 他者の発表を聞き、さまざまな考え方に気づくとともに、発表に対するアドバイスや意見などを述べる。 【D1 自律的活動に関する資質能力 ☆感じ取る力】

### (2) 評価について

#### ○本時のルーブリック

パフォーマンス課題		・【発表者】住田町の魅力を表現したガイドブックに関しての発表 ・【聴衆者】発表に対しての質疑応答、アドバイス・意見などの提示	
みとる資質能力		C1 人間関係形成に関する資質能力 ☆伝え合う心	D1 自律的活動に関する資質能力 ☆感じ取る力
パフォーマンスの特徴	A	・ガイドブックに関する発表内容をよく分かりやすくまとめ、調査活動や工夫点などについて、他者に十分伝わるように、視覚的なものを加えるなど表現に工夫をしている。	・多様な他者の考えや価値観を十分受け入れ、広い視野でより良いものを考え、アドバイスや意見を述べることができる。
	B	・ガイドブックに関する発表内容を簡単にまとめ、調査活動や工夫点などについて、他者に伝わるよう、表現している。	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、より良いものの考え方を心懸けてアドバイスや意見を述べることができる。
	C (支援の手立て)	・ガイドブック作成に関する調査活動や工夫点などを具体的にまとめさせ、発表内容の再考を手助けする。	・多様な他者の考えや価値観が自分の考えを広げるきっかけになることに気付かせる。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	※指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 本時の進め方の確認 発表・質疑応答→付箋記入  2 本時の発表会（課題）の確認	・時間や進め方などを確認する。
	課題   【発表者】自作したガイドブックに関してわかりやすく発表する。 【聴衆者】発表に対しての質疑応答、アドバイス・意見などを述べる。	
展開 35分	3 発表・質疑応答（計3分） ・発表者：自作したガイドブックについて、調査活動や作成時の工夫点、ガイドブックの広め方など、オーディエンスにわかりやすく説明する。 質問や意見に対して答える。 ・聴衆者：メモをとりながら発表を聞き、アドバイスや意見などを述べる。  4 付箋記入（2分） ・聴衆者：質疑応答の際に述べた内容などを付箋に記入し、発表者へ渡す。	・発表者が物怖じせずに大きな声で発表し、聞き手が質問できるように各グループを巡回し、配慮する。 ・全員が発表し、自己評価シートの記入、本時の振り返りまでできるように時間の管理をする。  ◆【発表者】生徒各自が調査研究し、ガイドブックとして発信していくうえで、構想発表会での振り返りをもとに工夫をしながら、聴衆に対してわかりやすく発表をしている。（発表） ◆【聴衆者】発表者の考えに対してその価値を認識するとともに自分の考えを述べようとしている。（質問・意見、付箋）
まとめ 10分	5 本時の振り返り ・自己評価シートへの記入  6 今後の取り組みについての確認 ・ガイドブックの設置およびアンケートの依頼	・ガイドブック作成のために、調査・研究を重ね、自分から発信していくことの意義を確認する。 ・今までの活動を振り返りながら、自己評価を行う。  ・ガイドブックを実際に置いてくれる施設などへの依頼や、アンケートの作成・依頼について説明する。

地域創造学テーマ 1年「ガイドブック作り」

クラス	氏 名	テ ー マ
A-1		道の駅「ぼらん」の商品紹介をする
A-2		住田町の楽しい場所を見つけ、多くの方に見てもらう
A-3		住田町のおいしい食べ物
A-4		住田の歴史
A-5		気仙地区に響く音楽
A-6		住田の神社・寺
A-7		音楽〈音蔵〉
A-8		住田の歴史
A-10		住田町の農業（アツモリソウ、しいたけなど）
A-11		道の駅 種山ヶ原について
A-12		住田の特産物を探そう！
A-14		住田町の飲食店について
A-15		安心して暮らせる住田町
A-16		住田町の街
A-17		旅行
A-18		住田町の動物
B-1		住田町の鳥獣被害
B-2		親子が過ごしやすい町
B-3		住田町の保健福祉について
B-4		自然にめぐまれた住田町
B-5		住田町の食材
B-6		住田町の食材について
B-7		住田の木で車をつくる
B-8		住田町の自然、風景を写真で伝える
B-9		住田と森林（動物・建物について）
B-10		滝観洞
B-11		住田の自然を生かした行事や学習
B-12		住田町にいる生き物について
B-13		住田町でデコトラのイベントを開く
B-14		デコトラで住田町の特産物を使ったデコチャリをつくる
B-15		住田の緑
B-16		自然
B-17		住田の自然
B-18		山